



横瀬町立横瀬中学校の取組

1 本校の概要

本校は、全校生徒数207人、学級数7学級の小規模校である。学校教育目標「よく学び 心を正し 全力尽くす」のもと、全教職員が改善と創造の意識を持って教育活動に取り組んでいる。令和2・3年度は横瀬町教育委員会の委嘱を受け、研究主題を「基礎学力の定着と主体的に学ぶ生徒の育成」と設定し、学ぶ楽しさを取り入れた授業やICTを活用した授業及び自主学習の充実に係る研究を進めている。

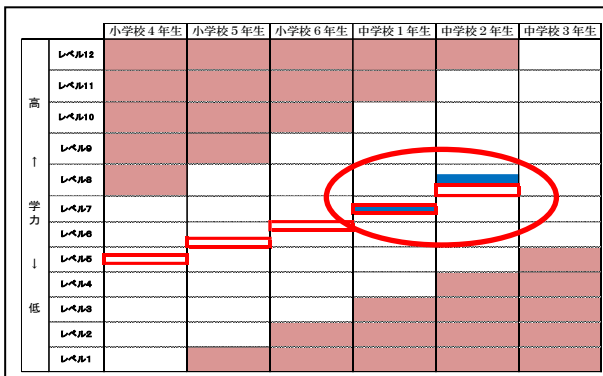


2 令和2・3年度の結果

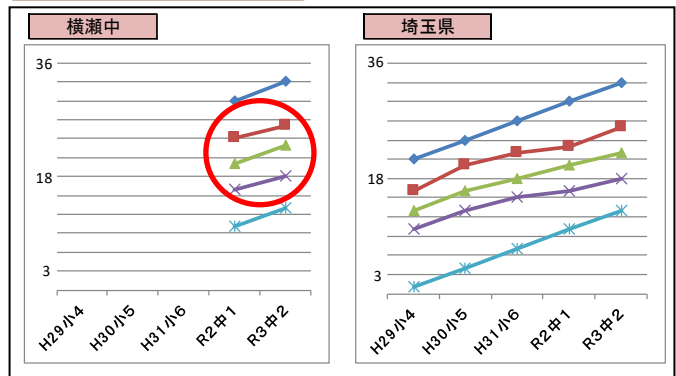
中学校1年生→中学校2年生の取組

(1) 学力の伸びから見られる特徴【数学】

今までの学力の変化



学力の伸びの状況



- 学力の伸びが県平均を上回るとともに、中位層の伸びが大きい。
- 学力を伸ばした生徒の割合が81.6%で、全体的に学力を伸ばすことができている。

(2) 伸びを引き出した効果的な取組

ア 学習方略の向上を意識した取組

・柔軟的方略を意識した取組

生徒自身が自分の状況に合わせた学習方法ができるように、数学を担当するJプラン教員が中心となり、小学校の学習内容も確認しながら授業を行った。また、家庭学習では、生徒の実態に合わせ、学習したことをまとめる学習から問題を繰り返し解く学習に変えるなどアドバイスした。

・作業方略を意識した取組

授業の初めには5分程度の小テストを行い、繰り返し練習する機会を設けたり、家庭学習では問題集を繰り返し取り組んだりするようにするなど、作業を中心に学習を進めるようにアドバイスした。

・人的リソース方略を意識した取組

学力の上位層と下位層が同じ班になるように班編成を行い、授業中に班内での教え合い活動を充実させた。学力上位層の生徒の考え方を参考にし、全体で確認する前に班内で考え方を確認することで、自身の解答について考える時間を設けた。

取組の結果、学習方略の数値は、どの項目も県平均を上回る結果となった。特に作業方略と人的リソース方略の項目は、0.3ポイント上回った。また、変化量では、特に柔軟的方略と人的リソース方略に伸びが見られた。



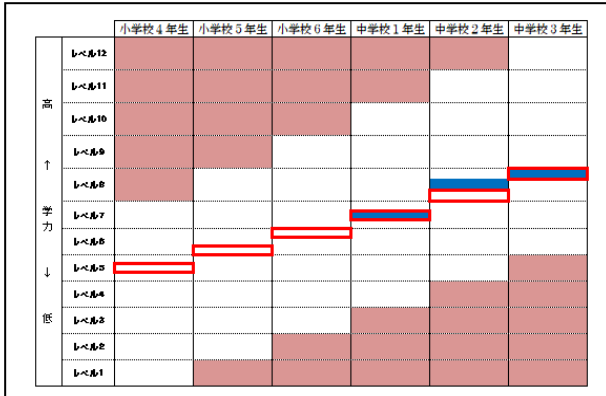
イ 学習指導員を活用したチーム・ティーチング

学習指導員を配置し、毎時間チーム・ティーチングを行った。主に学力のレベルが全体的に低い生徒への支援を担当し、コロナ禍において学習の遅れが出ないように配慮した。

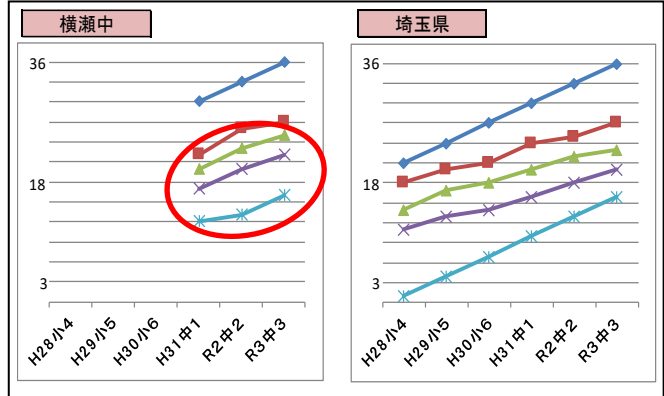
中学校2年生→中学校3年生の取組

(1) 学力の伸びから見られる特徴【数学】

今までの学力の変化



学力の伸びの状況



- 中位層及び下位層の学力が県平均よりも高くなっている。
- 下位層の学力の伸びが大きい。

(2) 伸びを引き出した効果的な取組

ア 個に応じたきめ細やかな少人数指導

第3学年では、生徒の希望を確認した上で、「基礎コース」と「標準コース」の2つのコースで習熟度別少人数指導を実施している。そのクラス編成では、「基礎コース」の人数が少なくなるように配慮している。また、「学びタイム」や「横中検定」という基礎学力の定着を目指した取組を行っている。合格するまで丁寧に指導し、基礎・基本の定着を徹底させた。このことにより、問題を解くことができない理由を明確にし、「分かる」を「できる」に変えられるように指導している。



イ 本時の目標、まとめを意識した授業の取組

毎時間、生徒が授業の見通しを持てるように本時の目標を明確にしている。また、まとめと振り返りも毎時間行っている。生徒が何を学んだのか、何が分かったのかを振り返ることができることが大切であると考えている。

ウ 『分かる』を『できる』に変える学び合い授業

自分の考えを書いたり、考えたりすること自体を苦手とする生徒が多い。そこで、自分にはない考え方や解き方を生徒同士が共有し、学び合いの中で理解できるようにしている。特に、十分に理解できていない生徒については、他の生徒がミニティーチャーとして教えることで、教える側の理解の向上にもつながることができた。

学校全体での取組

ア 学習規律確立のための「授業スタンダード」の策定

生徒にとって最低限身に付けてほしい態度を一覧にまとめ、令和2年度より全校で取り組んでいる。これにより、授業規律が確立され、集中して授業に取り組める環境となっている。

イ 授業における学習活動の充実（ICT活用・課題提示）

それぞれの教科で動画や視覚的資料などを効果的に用いて、思考力・判断力・表現力を育む学習活動に取り組んでいる。また、授業の課題を明確にするため、原則「？」（疑問形）で課題を設定し、問題解決型授業を展開できるようにしている。

横瀬中学校 授業スタンダード

授業のはじまり

☆チャイムが鳴る1分前には着席をしている

☆礼儀正しく授業前の挨拶をする

授業中

☆姿勢よくイスに座る

☆肘を伸ばして挙手をする

☆相手に伝わる声の大きさと発表や返事をする

☆目と耳と心で相手の話を聴く

授業の終わり

☆礼儀正しく授業後の挨拶をする

☆次の授業の準備をしてから休み時間にする